

令和5年度 第2回神栖市若手医師きらっせプロジェクト推進会議サマリー

- 1 日時・場所 令和6年3月24日（日）15：30～16：00
鹿島セントラルホテル 桐・橘の間
- 2 出席者 委員8人 随行者4人 神栖市3人 受託業者2人
(別紙名簿のとおり)

3 会議結果

(1) 結果概要

開始に先立ち、石田神栖市長からのメッセージ代読（加瀬市長公室長）、永井コーディネーターの挨拶、新任委員の白十字総合病院関戸副院長による挨拶があった。

その後、次第にもとづき、永井コーディネーターを座長として「令和6年度の事業計画（案）について」を議題に、事務局説明が行われた。

事業計画案の説明の冒頭で、幸武グループ様から市の医療政策へ100万円の寄付をいただいた旨と、その活用方法についての説明がなされた。また、神栖市の取り組みが「第五回上手な医療のかかり方アワード」において厚生労働省医政局長賞を受賞したことが報告された。協議の結果、令和6年度の事業計画（案）は原案どおり承認された。このことについて、委員からの意見等はなかった。

協議後には「その他」として、令和6年度の市修学資金貸与制度においては、医師2名、看護師1名から申請があったことや、医師の募集枠については、過去最多の問い合わせがあることから、例年の2人枠を5人に増やして対応することについて、事務局から説明がなされた。

(2) 主な説明事項

ア 幸武グループ寄付金の用途・金額について

① 医療教育の準備資金

○令和6年度は、医療教育の準備資金として、事業実施にご協力いただく3医療機関に20万円が割り当てられる。

② 看護師等、コメディカルへの教育研修支援金

○学会や研修会等の参加や実施のための補助金として、市内専門研修施設の3医療機関に10万円が割り当てられる。

③ 地方創生医師団共催シンポジウムの準備資金

○ノベルティ等、参加者へ向けた広報施策に10万円が割り当てられる。

イ 分科会について

- 産業医研修会の分科会では、鹿島セントラルホテルが売却されることに伴い、会場使用に伴う予約方法の見直しが予想されることを踏まえて令和7年度の実施方法について、ホテル譲渡後に協議を行う。
(令和6年度の会場使用については、これまでと同じ条件で会場側の合意を得ているところ。)
- 研修分科会では、外国人患者受け入れの在り方について、課題や研修すべき事項など、勉強会等の開催を通して協議を行う。

ウ 就業支援・雇用促進について

- 今後のサポート制度の在り方については、市の財政見直しを踏まえるとともに、医療機関と情報交換を図りながら検討をしていく。
- 看護師合同就職相談会のうち、下半期に開催する第2回は、市内医療機関すべてに参加を募り、市全体での開催を予定している。

エ 情報発信について

- レジナビ Fair は本年度同様に市内専門研修施設3医療機関と神栖産業医トレーニングセンターで出展する。来場者へ医療機関および市のPRを行うとともに、医学生、初期研修医がどのような考えで病院選びを行っているのか等、情報収集の場としても活用する。
- 令和6年10月に地方創生医師団との共同開催でシンポジウムを実施する。地域医療について本音で語り合う場として、関東一円の医学生に神栖市へ来てもらい、神栖市をアピールする場としても活用する。